

# NEXUS

2016  
No.654

6



## CONTENTS

- 01 Opinion「会長再任にあたって」  
岩手県中小企業団体中央会 会長 谷村 久興
- 02 第61回中央会通常総会開催
- 05 ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金採択業者が決定
- 08 大船渡市、釜石市、山田町の3地区で移動中央会開催  
熊本県中小企業団体中央会来県～協希望の宿ネットワーク視察～
- 09 安定的な雇用の確保等に関する関係団体の活動要請  
岩手県事業引継ぎ支援センター、6月から支援体制強化
- 10 企八幡平地熱活用プロジェクト、  
平成28年度地熱開発理解促進関連事業に採択される
- 11 組合事例紹介「越前漆器協同組合」
- 12 会員情報 盛岡手づくり村開業30周年記念式・祝賀会 他
- 13 平成28年度地区別懇談会開催日程のご案内  
第68回全国中小企業団体全国大会及びツアーのご案内
- 14 情報連絡員レポート(平成28年4月)
- 16 中央会からのお知らせ

岩手県中小企業団体中央会

<http://www.ginga.or.jp/>

## 「会長再任にあたって」

岩手県中小企業団体中央会

会長 谷村 久興



5月12日に開催しました第61回通常総会において、岩手県中小企業団体中央会の会長に再任され、会長の職も6年目にはいりました。

東日本大震災直後の平成23年5月に故鈴木宏延前会長から会長を引継いだ後、震災からの復興支援という大きな責務もあってか本当にあつという間の5年間でした。そして今、沿岸被災地は新たに生まれ変わり産声をあげようと頑張っているところです。本会では、震災後、事業活動における第一の重点項目として復興支援をかかげ、国と県の施策を活用しながら事業を実施してまいりました。現在は、その道のりの折り返し地点を過ぎた位置にいると考えております。

震災から月日が経過し被災事業者の課題も多様化している中、被災地の方々が本当に復興したと実感できるその時まで、支援の手を緩めることなく事業を進めてまいりたいと思います。

また、震災復興以外においても、国際化の進展と人口減少社会の到来など、経営環境が厳しい状況の中で、我々中小企業は直面する様々な課題を解決しながら、継続して事業活動を行っていくため、改めて、事業者が連携して取り組むことの意義や優位性について考え、連携組織のメリットを十分に発揮し、新たな共同事業創出などによる高付加価値の製品やサービスの提供に取り組んでいかなければなりません。

ちょうどこの5月に「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律の一部を改正する法律」（中小企業等経営強化法）が成立し、その中で生産性向上のための人材育成などに取り組む「経営力向上計画」の認定事業者への支援措置が講じられています。また、本法の普及啓発や、人材育成研修などを担う機関

「事業分野別経営力向上推進機関」の設置が計画され、その機関について法では、協同組合等の同業者組合を想定し、その役割が期待されているところでもあります。

今後も、平野喜嗣副会長、齊藤俊明副会長並びに小山田周右副会長の副会長体制のもと、役員各位のお力添えを賜りながら、県下一円全業種を網羅する本会ネットワークを活かし、生産性向上のための経営課題の解決や、新たな需要の発掘並びに雇用の創出等に繋げることで、地域を元気にしていけるような事業者が多く現れるよう事業を推進してまいりたいと思います。

最後に、会員各位のご理解、ご協力と、関係機関、関係団体のなご一層のご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます、簡単ではございますが、会長就任のご挨拶とさせていただきます。



## 第61回中央会通常総会を開催

去る5月12日、本会第61回通常総会を盛岡市のホテル東日本で開催した。

本会会員470人のうち242人（委任状を含む）の出席を得たほか、岩手県知事をはじめ関係各機関から来賓多数のご臨席をいただいた。

議事では、上程された全6議案が原案どおり、満場一致により可決決定された。

平成28年度の事業計画では、1.「震災からの確実な復興・再建の推進」、2.「経営課題の解決による経営力強化」、3.「連携による新たな産業と事業の創出」、4.「経営力強化のための人材確保と育成の促進」の4項目を重点支援することとした。

岩手県では平成26年度から3年間を本格復興期間とし、最終年にあたる平成28年度を「本格復興完遂年」と位置づけ、復興事業を確実に成し遂げることにしている。

本会は、復興・再建の多様な課題解決に向けた多面的支援を展開し、被災した事業者等の本格的再建に向けて全力で取り組んでいく。

特に、被災地域の中小企業や商店街の再生に向け、引き続きグループ補助金等の活用を通じ、被災商店街の本設移行等の支援や新たな商店街整備に向けた計画策定等、復旧後を見据えた支援を行う。

また、本会は中小企業経営力強化支援法に基づいた「経営革新等支援機関」に認定されており、県内組合及び組合員の経営革新計画の策定、組合事業の活性化、新事業展開への対応等、経営課題の解決に向けた支援を行う。

さらに、「ものづくり・商業・サービス革新補助金」の地域事務局として県内中小製造業者の試作開発、設備投資等を支援する。

その他、本県農林水産業の6次産業化を促進するため「いわて6次産業化支援センター」として新商品開発、販路拡大支援を展開する。また、中小企業の多様な人材の発掘・確保を支援するとともに、人材確保・育成と経営戦略構築のリンケージ等を図り、一層の経営力向上の実現に向けた支援を行う。



通常総会開会の挨拶を行う谷村久興会長



祝辞を述べる菊池哲 県商工労働観光部長（知事代理）



祝辞を述べる工藤大輔 県議会副議長（県議会議長代理）



## ■ 重点支援項目

### 1. 震災からの確実な復興・再建の推進

被災事業者の復興状況により抱える課題の多種・多様化が顕著になっていることから、確実な事業再建と中心市街地等の機能回復を実現するため、引き続きグループ補助金認定申請及び認定後の事業推進等を支援するとともに、被災中小企業等の商品戦略、販売戦略の再構築や販路開拓への支援を実施する。

また、被災地域での中小企業組合による組織化により、共同事業の拡充により事業再建を加速させ、地域産業の活性化を図る。

### 2. 経営課題の解決による経営力強化

中小企業組合等の連携組織が抱える運営上の課題、問題の解決を通じて中小企業の経営向上が図られるよう、「経営革新等支援機関」として課題等の発掘に努め、共同事業の活性化、新たな事業展開等を促すことで中小企業の経営強化を図る。

また、県及び各経営革新等認定支援機関等との連携を強化し、「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」により県内中小企業等の技術力、生産性・製品力の向上や新サービス・新ビジネスの創出を促進するとともに、補助事業に係る公募・採択や進捗確認等を通じ適正な事業実施を支援する「ものづくり支援センター」の設置運営を行う。

### 3. 連携による新たな産業と事業の創出

地域資源を活用した新たな産業創出と中小企業の活性化のためには、中小企業組合、中小企業グループによる産業復興と新たな事業創出、製品・商品、サービスの高付加価値化が必要不可欠である。国・県の施策（「農商工連携」「いわて希望ファンド」「いわて農商工連携ファンド」）等を積極的に活用し、新商品等の高品質化、高付加価値化による事業創出と拡充を図る。

特に、6次産業化等については、県の委託により本会に設置した「いわて6次産業化支援センター」において新商品開発、販路拡大等について企画から事業化、既存6次化事業のブラッシュアップ等、総合的な支援を推進する。

### 4. 中小企業の人材確保と育成の促進

中小企業の成長、発展には、優れた人材の確保と育成が不可欠である。大企業の採用意欲がさらに拡大する一方、本県中小企業の人材確保は依然として雇用と求職のミスマッチが存在している。中小企業の多様な人材の発掘・確保を支援するとともに、人材確保・育成と経営戦略構築のリンケージ等を図り、一層の経営力向上の実現に向けた支援を行う。

また、次代を担う経営者・技術者・技能士等の後継者を育成するため、研修会等を通じた人材育成に取り組むものとする。



祝辞を述べる山本雅之 商工組合中央金庫盛岡支店長



総会議長を務める平野喜嗣 副会長



# 主要記事 Topics

【岩手県中小企業団体中央会第61回通常総会開催】

■ 新役員体制（会長1名 副会長3名 専務理事1名 理事26名 監事5名）（五十音順）

役職名	氏名	所属組合名	再任・新任
会長	谷村 久興	岩手県機械金属工業協同組合連合会	再任
副会長	小山田 周右	岩手県鉄構工業協同組合	〃
副会長	齊藤 俊明	岩手県菓子工業組合	〃
副会長	平野 喜嗣	岩手県電気工事業工業組合	〃
専務理事	菅原 和弘	岩手県中小企業団体中央会	新任
理事	岩清水 晃	南部鉄器協同組合	再任
理事	大野 尚彦	盛岡地区タクシー業協同組合	〃
理事	海鋒 守	物流ネットワークオール岩手協同組合	〃
理事	工藤 清博	盛岡青果商業協同組合	〃
理事	熊谷 祐三	岩手県液化ガス商工組合	〃
理事	斎藤 誠	岩手県印刷工業組合	〃
理事	佐々木 慶子	宮古市末広町商店街振興組合	新任
理事	佐々木 英樹	岩手県管工事業協同組合連合会	再任
理事	佐藤 康	岩手県中小企業青年中央会	〃
理事	澤里 富雄	久慈自動車整備協業組合	〃
理事	澤田 克司	岩手県旅館ホテル生活衛生同業組合	〃
理事	菅原 廣耕	岩手県ビル管理事業協同組合	再任
理事	高橋 純一	岩手県火災共済協同組合	新任
理事	高橋 政志	岩手県乾麺工業協同組合	再任
理事	高橋 祥元	協同組合江釣子ショッピングセンター	〃
理事	豊岡 卓司	岩手県商店街振興組合連合会	〃
理事	豊田 肇彦	岩手県木材産業協同組合	〃
理事	中村 康彦	盛岡市建設業協同組合	〃
理事	平井 滋	岩手県酒造協同組合	〃
理事	藤村 文昭	協同組合盛岡卸センター	新任
理事	松本 静毅	日専連岩手県連合会	再任
理事	宮澤 啓祐	岩手県石油商業組合	〃
理事	舞石 太	岩手県採石工業組合	新任
理事	安江 由喜雄	岩手県流通輸送センター協同組合	新任
理事	吉田 莞爾	盛岡大通商店街協同組合	再任
理事	渡辺 征彦	岩手県板金工業組合	新任
監事	昆 裕子	企業組合夢咲き茶屋	再任
監事	佐久間 修一	岩手県塗装工業組合	〃
監事	佐々木 武男	岩手県米穀販売商業組合	〃
監事	村井 良和	岩手県パン工業組合	〃
監事	村田 欣也	岩手県液化ガス事業協同組合	〃



## ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金 採択事業者が決定しました！

本会では、「平成 27 年度補正ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」の岩手県地域事務局として、平成 28 年 2 月 5 日(金)から 4 月 13 日(水)まで公募の受付を行いました。応募申請のあった案件について、本県及び全国の審査を経て、6 月 6 日(月)に岩手県では以下の 63 件が補助金の採択先に決定しました。

なお、全国では、24,011 件の申請があり、7,729 件の採択を決定しました。採択率は約 32%でした。

### 《ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金 採択先一覧》 (敬称略・受付順)

No	事業者名	事業計画名	認定支援機関
1	(有)パールドライ	新型プレス機導入による Y シャツクリーニングの襟詰りに係る再生復元の実現と新市場の開拓	岩手銀行
2	工藤建設(株)	高効率低回転対応発電機採用による大型クロスフロー風力発電の試作開発	東北銀行
3	杜陵高速印刷(株)	小ロット、多品種製造に特化した製本・加工による製品開発事業	いわて産業振興センター
4	津志田歯科医院	3D 装置導入による歯列矯正の革新的診断法と高精度歯科治療の実現	岩手銀行
5	(有)五枚橋ワイナリー	独自のシードル生産プロセスの革新的改善による新製品の開発、販路開拓	いわて産業振興センター
6	(株)環境保全サービス	太陽光パネル及び自動車フロントガラス等の剥離ガラスの精製装置の開発と事業化	北日本銀行
7	(有)センウッドコーポレーション	デザイン性と少ロット多品種生産性に優れる収納扉の量産体制の構築と売上の拡大	岩手銀行
8	(株)オイカワ製作所	溶接作業プロセスの高度化により海外生産との差別化を図り受注を拡大する	北日本銀行
9	(有)南部鉄瓶元祖鈴木主善堂	小型高周波電気炉導入による伝統鋳物の生産性向上と環境の改善	北日本銀行
10	(有)東北エヌティエス	高輝度蓄光式誘導標識(消防設備品)を日本全国・海外に向けて量産する体制の構築	岩手銀行
11	森田製作(有)	当社独自の新たな加工体制の確立による受注拡大	紫波町商工会
12	岩手製鉄(株)	シェルモールド法導入による自社ブランドの家庭用調理器具開発	いわて産業振興センター
13	(有)サンコー装芸	最新型レーザー加工機を活用したアクリル加工工程の生産プロセス革新事業	株式会社エフピー・ワン・コンサルティング
14	東北資材工業(株)	ポーラスとスチロラムダの発泡スチロール体多層成型ボードの新開発計画	いわて産業振興センター
15	(株)マユミ精巧	I o T を活用した 24 時間監視型福祉用具消耗品製造による経営の安定化	花巻市起業化支援センター
16	(有)テクニス精機	CAM 及び三次元測定器の高度化による複合形状加工品の高精度製造工程の確立	水沢信用金庫
17	(株)カガヤ	自動 2 軸短材コラム開先加工機導入による生産プロセスの改善	いわて産業振興センター
18	(株)京屋染物店	自社独自の染色技術を活用した新商品の販路拡大と生産性向上	一関信用金庫

No	事業者名	事業計画名	認定支援機関
19	釜揚げ屋	ボトルネック工程の解消による生産性の向上と商圏の拡大	山田町商工会
20	スマイルアート	歯科用CAD/CAMシステムによる新しい歯科技工サービスの提供	税理士法人つくし会計
21	(株)近藤設備	三次元計測技術を利用したBIMモデルの作成による施工プロセスの省力化	北上信用金庫
22	(有)早野商店	食品加工設備の導入により、短角牛など地域資源を活用した新製品を開発し、新分野への参入を図る	岩泉商工会
23	エストエストデンタルケア	マイクロスコープによる最先端根管治療で地域医療に貢献する計画	合田&パートナーズ
24	(株)栄組	インフラ長寿命化を実現するコンクリート維持補修システムの構築	遠野商工会
25	昆デンタルクリニック	歯科用最新デジタル技術を用いた補綴物作成内製化によるスピード治療サービス	西川税理士法人
26	(株)興版社	納期の余材時間を創出し、編集作業時間を新たに提供する印刷サービスの実現	北日本銀行
27	(有)菅原自動車工場	水性塗料を使用した自動車補修塗装事業	東北銀行
28	マルモシート	大型複雑形状シートの効率的製造方法の確立	いわて産業振興センター
29	(株)浜千鳥	極め細やかな顧客ニーズ対応による新しい高級清酒市場の開拓	釜石商工会議所
30	(株)名東技研	5軸加工機導入による車載エンジン用セラミックス金型部品の事業拡大	愛知銀行
31	活版ディーアイ(株)	インバウンド対応した新たな印刷サービス提案による販路拡大	岩手銀行
32	(株)(株)小林精機	複合自動盤と画像測定技術の導入による高付加価値試作体制の構築	いわて産業振興センター
33	(株)東光舎	海外向けチタン製レザーカット用ハンドルの開発	いわて産業振興センター
34	(株)WING	大型高精度多面加工設備の導入及び生産プロセス改革による生産性の改善	いわて産業振興センター
35	(株)アイオー精密	超精密成形平面研削盤導入による短納期対応力の体制強化	花巻市起業化支援センター
36	(株)共立精工	超高精度領域の品質保証体制確立によるデライト（顧客満足度及び信頼度）の向上	花巻市起業化支援センター
37	(株)薄衣電解工業	自動車向け電装部品等錫めっき品の品質向上と生産性向上による受注拡大	北日本銀行
38	(株)二戸サントップ	海外市場参入のための毛芯縫製技術の更なる発展にむけて	いわて産業振興センター
39	廣田酒造店	独自酵母による新商品開発及び生産プロセスの強化による販路拡大	紫波町商工会
40	(株)浅沼醤油店	「地域資源」や「醸造技術」を活用した調味料の多品種展開	いわて産業振興センター
41	(有)吉田研磨工業	培ったワザと最新技術の融合で、一層の刃物研磨オンリーワン企業を目指す	北日本銀行

No	事業者名	事業計画名	認定支援機関
42	株式会社長島製作所	プレス金型の3Dハンディスキャナーを活用した革新的メンテナンス	岩手銀行
43	三光化成株式会社	3Dモデル活用による金型の生産性向上事業	いわて産業振興センター
44	東北精密株式会社	革新的加工システムの構築によりタイムリーな新製品開発支援サービスを推進する	七十七銀行
45	鈴木機械株式会社	リチウムイオン電池製造装置大型化のための最新設備導入と生産技術開発	北日本銀行
46	株式会社戸田久	製麺設備開発による業務用新食感そば商品販路拡大事業	株式会社ABKビジネスパートナーズ
47	株式会社ミナミ食品	湯葉製品の生産能力及び安全性・保存性を高める生産プロセスの改善	岩手銀行
48	株式会社いわて金型技研	動画指示とカスタマイズ機能による3次元CADの作業性改善	北上信用金庫
49	一沢コンクリート工業株式会社	防潮堤の復旧整備に不可欠なコンクリート残存型枠の量産・短納期化計画	株式会社エフアンドエム
50	株式会社ツガワ	医療機器向け高精度部品の最新モデルを活用したブランクシステムの構築	いわて産業振興センター
51	有限会社カネシメ水産	通電加熱技術を応用した無添加新商品による高付加価値化事業	普代村商工会
52	株式会社アイカムス・ラボ	医療・製薬向け分注バリデーション・ソリューションシステムの生産体制構築のための金型・装置の製作	いわて産業振興センター
53	株式会社岩手エッグデリカ	味付けでたまごボイル工程自動化で品質強化。コンビニ取引圧倒的シェア1位の確立	盛岡信用金庫
54	世嬉の一酒造株式会社	フレーバービールの少量ロット生産及び物流改善によるアジア諸国の輸出拡大	一関信用金庫
55	株式会社小山製麺	真空横型二軸ミキサー導入による、乾麺のコスト削減と品質向上による売上拡大	いわて産業振興センター
56	株式会社アール研究所	高精度多品種少量生産向け複合設備の運用による、大幅な生産性向上	いわて産業振興センター
57	株式会社東亜電化	知能ロボットを活用した研磨加工の確立	岩手銀行
58	株式会社岩手テクノ	義肢装具設計製造の職人技術と3Dデジタル技術の融合による次世代プロセス構築	花巻信用金庫
59	株式会社パーツ, Y	知的資産を土台とした5軸マシニングセンタの有効活用による受注体制強化	東北銀行
60	株式会社湯田牛乳公社	新食感ヨーグルト開発のための生産プロセスの改良	北上信用金庫
61	喜久盛酒造株式会社	純米酒「タクシードライバー」の徹底的な品質向上のための自動分析システムの導入	若杉公認会計士事務所
62	株式会社デジアイズ	ライナーレスラベルの量産事業化	岩手銀行
63	株式会社平野ターフ	新型ロングパイル人工芝専用機導入による作業効率アップ事業	東北銀行

**【本補助金に関するお問い合わせ先】**

岩手県中小企業団体中央会 H27 ものづくり支援センター  
〒020-0878 盛岡市肴町4番5号 岩手酒類卸株式会社ビル2階  
TEL : 019-613-2633 FAX : 019-613-2634



## 大船渡市、釜石市、山田町の3地区で移動中央会開催

本会では、東日本大震災により甚大な被害を受けた三陸沿岸地域の中小企業組合や事業者向けに国・県等の中小企業向け施策の説明会や経営相談会（中小企業組合等震災対応移動中央会）を、沿岸の各地域で開催している。

今回は、大船渡市(5月10日)、釜石市(同11日)、山田町(同11日)の3地区において、「第16次グループ補助金の申請について(公募期間 平成28年4月28日(木)～6月17日(金))」を主なテーマとして、県経営支援課の担当職員から「制度の概要及び今年度の公募申請における留意点等」についての説明とブースを設置しての個別相談会を行った。

各会場において、前段の説明会には15～20名が参加、後段の個別相談会では「グループ補助金の申請に向けてのグループ組成について」「復旧させる資産や設備について」、「グループ復興事業計画の考え方について」等の相談がよせられ、県経営支援課の担当職員が対応した他、本会でも申請に向けての助言及び、申請グループ支援事業の利用の勧奨を行った。

昨年度までは、基幹産業型で組成したグループの割合が高かったが、今回は、商店街型のグループを組成して申請を検討している事業者、グループからの相談が目立つ結果となった。本会では現在、移動中央会の相談者等を含む6グループの復興計画の策定支援を実施している。



## 熊本県中小企業団体中央会来県

### ～（協）希望の宿ネットワークを視察～

平成28年4月14日最大震度7を記録した熊本地震では、その後も大規模な余震が発生するなど、引き続き予断を許さない状況にある。熊本や大分の被災地では、地域住民の生活基盤、地域経済を支える生産施設・設備や社会インフラ等のストックが広範にわたり毀損し、内閣府が公表した熊本地震の影響の試算では、官民ストックの毀損による被害推計額は2.4兆～4.6兆円にのぼる。

そうした中、国では平成28年熊本県熊本地方の地震による被害に対する中小企業への支援策として、東日本大震災の復旧支援と同様に、中小企業組合共同施設等復旧事業や中小企業等グループ補助金等の制度を開始した。被災組合や事業者の早期事業再開、事業基盤の再建に向け、これら支援策の活用による本会の支援状況や復興への取り組み状況等の情報収集を図るため、5月26日、熊本県中小企業団体中央会より指導一課長補佐 谷口哲朗氏、指導二課・創業支援室課長補佐 中村栄孝氏が本会を訪れた。

本県では中小企業組合共同施設等復旧事業を活用した組合が6件あった他、中小企業等グループ補助金についてはこれまで49グループの認定を本会で支援し、施策の活用・計画策定手法などについて情報提供を行った。

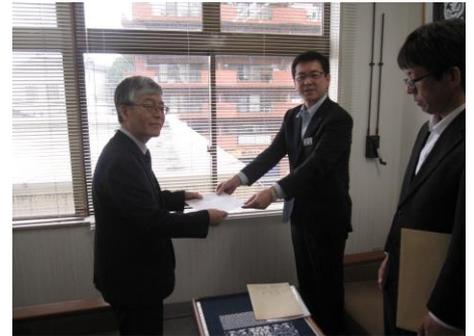
また、グループ補助金の認定グループを母体に県内の旅館・ホテル及び関連事業者で組織した協同組合いわて希望の宿ネットワークの理事長 佐藤義正氏（(株)大観 代表取締役会長）を訪問し、震災後の観光復興策などについて情報交換を行った。熊本県を含む九州地方では観光客（特に訪日外国人）が激減しており、佐藤理事長からは東日本大震災からの復旧の経験談、組合や本県の観光誘客の取り組み等について紹介した。引き続き、両県中央会が各々の地域の復旧復興の一翼となるべく、情報の共有や連携を図っていくこととした。



## 安定的な雇用の確保等に関する関係団体の活動要請

本会は6月2日（木）岩手労働局長、知事、盛岡市長の連名による「安定的な雇用の確保等に関する要請書」を受理した。

要請書は、人口減少が進む中では、全ての人々が健康で安心して働くことができる多様で柔軟な働き方を実現することが求められていることなどから以下に掲げる4項目について、会員団体・企業への理解を促す内容となっている。



本会菅原専務理事（左）が県雇用対策・労働室高橋室長（右）から要請書受理

### 一. 安定的な雇用の確保

震災からの復興と県民生活の向上にとって、雇用の確保は極めて重要であるという認識のもと、求人の正社員化による安定的な雇用の確保及び非正規雇用労働者の正社員転換・待遇改善に努められたいこと。

### 一. 新規学卒者の採用枠の確保

岩手の未来を担う若者を育成するという認識のもと、早期の求人票の提出及び新規学卒者に対する十分な会社側からの説明機会の確保、早期の適正な採用選考活動を通じて、引き続き新規学卒者の積極的な採用に努められたいこと。

### 一. 働き方改革に向けた取組の推進

仕事と生活の調和や生産性の向上を推進することは、地域の社会経済の維持、発展にも資するという認識のもと、長時間労働の是正や年次有給休暇の取得推進など、働き方改革に向けた積極的な取組に努められたいこと。

### 一. 障がい者の雇用の場の確保

就労を希望する障がい者が、その能力や適性に応じて就労しながら地域において自立して生活していける社会を実現するという認識のもと、障がい者雇用の確保に努められたいこと。

## 「岩手県事業引継ぎ支援センター」事業のご案内

～事業引継ぎ対策は早めの取り組みが重要です～

盛岡商工会議所では昨年度、国から委託を受け中小企業者の事業引継ぎに係る相談等を行う「岩手県事業引継ぎ支援センター」を設置し、6月1日より事業譲渡等の円滑化を更に図るため、支援体制を強化拡充しております。

中小企業の中には将来の事業存続に課題や悩みを抱えている企業が多く、特に親族内に適当な後継者がいない企業の増加が顕著である一方でこのような承継問題を先送りにし、特段の対策を行わないまま経営を続けた結果、廃業、雇用喪失といった社会損失が発生していることから、本センターでは「事業引継ぎ」を支援することで、円滑な事業のバトンタッチをサポートし、次世代への経営資源のスムーズな承継を支援することとしています。

☆例えば・・・

- 後継者がいない。今後会社は存続していけるだろうか？
- 自社を他の企業に譲渡したいが、どのようにすすめていけばよいか？
- 他の企業を買収したいが、どのように進めていけばよいか？
- 当事者同士で会社の売買について合意したが、進め方や手続きはどうしたらいいか？
- 仮に今、M&Aに取り組んだらどうなるか知りたい！
- 個人事業主ですが、後継者がいません。何か良い方法は？



“以上のようなお悩みを抱えていたら、お気軽にご相談ください”

☆ご対応させていただく専門家は守秘義務を負っており、皆様のプライバシーはもちろん、企業の機密情報やノウハウ等についても秘密が守られますので安心してご相談ください。（相談料は無料です）

問合せ先：岩手県事業引継ぎ支援センター（平成28年6月1日より体制を拡充して盛岡商工会議所から移転しました）

〒020-0875 盛岡市清水町14-17 中圭ビル1F ※盛岡商工会議所会館の隣り

TEL : 019-601-5079 FAX : 019-681-0828



## (企)八幡平地熱活用プロジェクト

### 平成 28 年度地熱開発理解促進関連事業に採択される

本会が設立支援した企業組合八幡平地熱活用プロジェクトが、経済産業省の平成 28 年度地熱開発理解促進事業支援補助金に採択された。本事業は、地熱資源開発の推進を図るため、温泉事業者等が地熱の有効利用等を通じて地域住民への開発に対する理解を促進することを目的として行う事業。

当組合は、平成 26 年 9 月に引退後の競走馬を救うため有志 7 人と温泉事業者により、馬糞堆肥の生産・販売及び馬糞堆肥由来のマッシュルーム製造・販売を目的に設立。地熱を活用した馬糞堆肥の安定発酵、高品質化と安定供給に取り組んできた。

最近では、八幡平地熱とジオ・ベジをテーマに、エネルギーと食の生産地八幡平市と首都圏大消費地とを結ぶ活動を展開中であり、本事業を通じ地熱による八幡平農産物ブランドの確立と首都圏への販売拡大を目指す。

#### 《(企)八幡平地熱活用プロジェクトの概要》

- 理事長 船橋慶延
- 〒028-7302 岩手県八幡平市松尾寄木 1-1483
- HP : <http://geo-farm.com/>
- 設立年月日：平成 26 年 9 月 30 日
- 出資金：200,000 円、組合員数：9 名
- 組合事業：馬ふん堆肥の生産・販売、馬ふん堆肥由来のマッシュルーム生産・販売

#### 《採択事業の概要》

八幡平市の地熱を活用して農業のブランド化・市場確立・生産量拡大を図るとともに、地域振興に資することで若者の雇用、定住・移住者の増加につながる事業(ワーキンググループ、シンポジウム等)を実施することにより地域住民等への地熱開発に対する理解を促進する。

## 平成 28 年度 中小企業団体青年中央会 東北・北海道ブロック協議会通常総会開催

6 月 3 日 (金)、盛岡市ホテル大観にて中小企業団体青年中央会東北・北海道ブロック協議会通常総会 (会長 佐藤 康 氏) が開催された。

各道県会員 7 名が全員出席し、任期満了に伴う役員改選を含む全 5 議案について審議され、全議案とも満場一致で可決された。

任期満了に伴う役員改選において、新会長には山形県中小企業青年中央会会長の玉井優氏、副会長には青森県中小企業青年中央会会長の荒川伸也氏が就任した。

その他、総会では熊本県地震における義捐金等について意見が交わされた。特に岩手、宮城、福島からは東日本大震災でいただいたご支援を忘れず、自分たちが発災から現在まで経験したことを伝えていきたいなどの意見が出されたほか、義捐金については各道県青年中央会で対応することと決定した。総会終了後は懇親会が開かれ東北 6 県と北海道の代表者による情報交換が活発になされ盛会裏に終了した。





## 越前漆器協同組合

### 「伝統工芸インターンシップ」で産地に即戦力となる後継者を呼び込む！

越前漆器協同組合（福井県鯖江市）では、越前漆器産地の後継者の確保に向け、組合と自治体、支援機関、教育機関が連携したことにより事業推進力が高まり、組合単独では困難であった人材確保について組合によるインターンシップの実施により成果を上げている。

#### 組合概要

組合名	越前漆器協同組合	URL	http://www.echizen.or.jp	
住所	(〒916-1221) 福井県鯖江市西袋町 37 号 6 番地 1			
電話番号	0778-65-0030	FAX 番号	0778-65-0550	
設立	昭和 25 年 2 月	出資金	3,267 千円	
主な業種	漆器製造、販売	組合員	145 人	

#### ■事業活動の背景と目的

越前漆器産地は全国漆器展で最高賞を数多く受賞するなど、職人の卓越した「技」が高く評価されてきた。しかし、職人の高齢化が進み、後継者不足が長年の課題となっている。

こうした状況のなか、産地の後継者として、即戦力となる技術を学んでいる若者を産地に呼び込むため、日本唯一の工芸学部がある学校法人二本松学院と産地を有する福井県鯖江市、鯖江商工会議所が包括的連携協定を締結した。その取組みの一環として中央会と鯖江市で「伝統工芸インターンシップ」を実施し、学生が越前漆器産地の生活環境や仕事内容を早い段階で認知し、就職先の候補として捉えてもらい、将来は後継者として産地に根付くことを目指している。

#### ■事業・活動の内容

「伝統工芸インターンシップ」は、越前漆器協同組合と福井県中小企業団体中央会、鯖江市の共同企画にて運営され、組合は受入事業者の選定、受入体制の整備を担当した。鯖江市は、連携協定を結んでいる学校法人二本松学院等都市部からなお受入学生の確保に協力した。実施前には、同学院の学生を対象に「産地見学会」を開催し 38 名が参加。工房の見学を通じて本事業の PR を行っている。

中央会は、組合、鯖江市とともに事業のスケジュール作成、関係各所との調整に関わったほか、受入学生の旅費、宿泊費の補助を行っており、組合単独では困難であった事業の実施を他機関との連携によって可能にしている。インターンシップは 1 週間の日程で実施され、漆工芸を学んでいる学生 5 人が参加し、工房で蒔絵や塗りの作業を体験したほか、地域住民との交流を通じて産地の歴史や文化を学んだ。学生は産地での就職意欲が非常に高く、今後も産地へ後継者を呼び込む取り組みを続けていく予定である。

#### ■事業活動による成果

インターンシップに参加した 5 人の学生のうち、1 人が産地の企業への就職が内定した。本事業を契機に、求人事業者が組合を通じて漆工芸を学んでいる学生とコンタクトできる環境が整い、これまで苦労していた即戦力の確保につながった。今後、組合が学生の情報を把握し、事業者と学生のマッチング機能を担うことで、産地の後継者確保の一助になることが期待されている。

(全国中央会資料収集加工事業より抜粋)

○全国中央会では共同事業の先進事例について毎年テーマを設定の上、各県中央会に候補組合の調査を依頼し、「先進組合事例抄録」として報告書をまとめると共に全国中央会のホームページにも掲載している。本事業は昭和 57 年度から開始され、これまで収録した組合事例は、延べ 6,000 組合を超えている。

「先進組合事例抄録」の内容は、「組合事例検索システム」<http://jirei.chuokai.or.jp/newjirei/default.aspx> で閲覧可能となっている。

## ～ 会 員 情 報 ～

## 盛岡手づくり村開業 30 周年記念式・祝賀会

盛岡手づくり村開業 30 周年記念事業実行委員会（協）盛岡手づくり村（佐々木俊幸理事長）他

5 月 16 日、盛岡手づくり村開業 30 周年を記念し、盛岡市「ホテル大観」にて組合等関係者約 150 名出席のもと記念式典を盛大に開催した。式典では（公財）盛岡地域地場産業振興センター谷藤裕明理事長による式辞、盛岡広域振興局長、岩手県議会議長の祝辞の後、手づくり村振興に貢献してきたつなぎ温泉観光協会、小岩井農牧（株）ほか 2 団体に感謝状が贈呈された。

式典後は「手づくりの魅力が輝く街に」をテーマに記念シンポジウムを開催。盛岡手づくり村は昭和 61 年 5 月 1 日、盛岡広域圏 8 市町村の地場産業の振興・発展を目的に「見て・触れて・体験できる」施設として開業。（協）盛岡手づくり村は高度化資金を利用し組合員の工房を設置。全国に先駆けた取組として注目され平成 27 年 7 月には入場者 2,000 万人を達成、手づくり教室体験者は 94 万人を超えている。



谷藤裕明理事長による式辞



パネルディスカッション佐々木理事長

## 第 52 回東北畳業連合会総会、第 25 回東北畳工技能協議会大会を開催

岩手県畳工業組合（村山 義光理事長）

6 月 5 日、盛岡市「ホテル大観」にて東北 6 県の組合関係者約 110 名、来賓に岩手県商工労働観光部長、盛岡市商工観光部長ほか出席の下、第 52 回東北畳業連合会総会が盛大に開催された。

総会開催に先立ち畳工技能競技大会を開催。本大会は、東北各県から 1 級・2 級の若手技能者の手縫い畳製作等の技能向上を目的として 3 年毎に開催されてきたが、東日本大震災の影響により 6 年ぶりに開催された。上位勝者には岩手県知事賞、盛岡市長賞他が贈られた。

5 月 27 日には当組合青年部が盛岡市材木町夜市にてミニ畳販売等による熊本地震支援募金活動を実施。大会当日に青年部からの募金と組合による義援金が本総会に出席した「熊本いぐさ・畳表活性化連絡協議会」に寄贈された。熊本県は国産いぐさ日本一の生産地であり、東日本大震災では熊本県産いぐさを被災地に贈るとともに、くまモンが来県するなど本県は多くの支援を受けている。



村山理事長の挨拶



競技大会の様子

## 第 19 回「YOSAKOI さんさ」開催

YOSAKOI さんさ実行委員会（事務局：盛岡大通（商振）吉田 莞爾 理事長）

東日本大震災の復興応援や中心市街地活性化を目指すイベント、第 19 回 YOSAKOI さんさが 5 月 29 日（日）、盛岡市中心部の 8 会場（盛岡大通商店街・盛岡駅前「滝の広場」・ホットライン肴町・MOSS 前広場・カワトク前ステージ等）で開催された。県内外のよさこいさんさ踊り団体など、北は青森県むつ市、南は神奈川県横浜市まで全国各地より 40 チーム、約千人が華やかな衣装で躍動し、詰め掛けた観客を魅了した。

大通商店街では、各地の大旗が競演する場面もあり、その迫力に観客らは歓声を上げ大きな拍手を送っていた。



## 平成 28 年度 地区別懇談会開催日程のご案内

組合代表者と中央会との地区別懇談会を下記日程にて開催致します。懇談会での意見要望は、本年 9 月 21 日(水)に開催される第 41 回中小企業団体岩手県大会、10 月 19 日(水)に石川県金沢市「いしかわ総合スポーツセンター」で開催される第 68 回中小企業団体全国大会の議案として提出するほか、本会支援事業にも反映されます。多数のご出席をお願いいたします。

詳細につきましては、後日改めて文書にてご案内申し上げます。(お問合せ先：統括管理部)

	日 時	開催地区	会 場	TEL
1	6 月 24 日 (金) 13:30～	花北地区	花巻市文化会館	0198-24-6511
2	7 月 1 日 (金) 13:30～	盛岡(商業)	ホテル東日本	019-626-9083
3	7 月 4 日 (月) 13:30～	盛岡(工業)	ホテル東日本	019-626-9083
4	7 月 5 日 (火) 13:30～	宮古地区	宮古市総合体育館	0193-62-6000
5	7 月 6 日 (水) 10:00～	久慈地区	久慈グランドホテル	0194-52-2222
6	7 月 8 日 (金) 13:30～	県北地区	二戸文化会館	0195-23-7111
7	7 月 13 日 (水) 13:30～	県南地区	プラザイン水沢	0197-25-8811
8	7 月 14 日 (木) 13:30～	釜石地区	釜石情報交流センター	0193-27-8751
9	7 月 15 日 (金) 10:00～	気仙地区	大船渡市魚市場	0192-26-4112

## 第 68 回中小企業団体全国大会（石川県金沢市）及びツアーのご案内

### ～ 岩手県中央会では、2泊3日のツアーコースを企画しております ～

全国の中小企業団体の代表者が一堂に会し、その決意を内外に表明するとともに、国等に対して中小企業振興施策の確立を訴え、組合組織を基盤にして中小企業の安定的な振興発展を目指すことを目的に、第 68 回中小企業団体全国大会が石川県金沢市にて開催されます。

- 全国大会開催日：平成 28 年 10 月 19 日（水）13:00～
- 開催場所：いしかわ総合スポーツセンター（石川県 金沢市 稚日野町北222）
- ツアー日程：平成 28 年 10 月 18 日（火）～ 20 日（木）

#### 【ツアー行程の概要】

- 10 月 18 日（火）  
岩手発・新幹線 → 大宮駅～長野駅 → 黒部立山アルペンルート → 金沢市内 泊
- 10 月 19 日（水）  
ひがし茶屋街・長町武家屋敷・兼六園 → **第 68 回全国大会** → 加賀温泉郷 泊
- 10 月 20 日（木）  
永平寺～東尋坊 → 金沢駅～大宮駅 → 岩手着

※) 詳細は、後日郵送します案内文書をご参照ください。(※旅程は一部変更になる場合があります。)  
お問い合わせ先は、企画振興部 菅原まで。



### 《 全国景況 》

4月は、熊本県ならびに大分県で発生した震災によって、被災による操業難や物流・商流の混乱等が各地で発生し、全国的に経済活動が下押しされたことに加えて、為替市場における円高傾向や自動車の燃費データ不正問題に発する減産等も相俟って、中小企業の先行き不透明感は一層増大している。

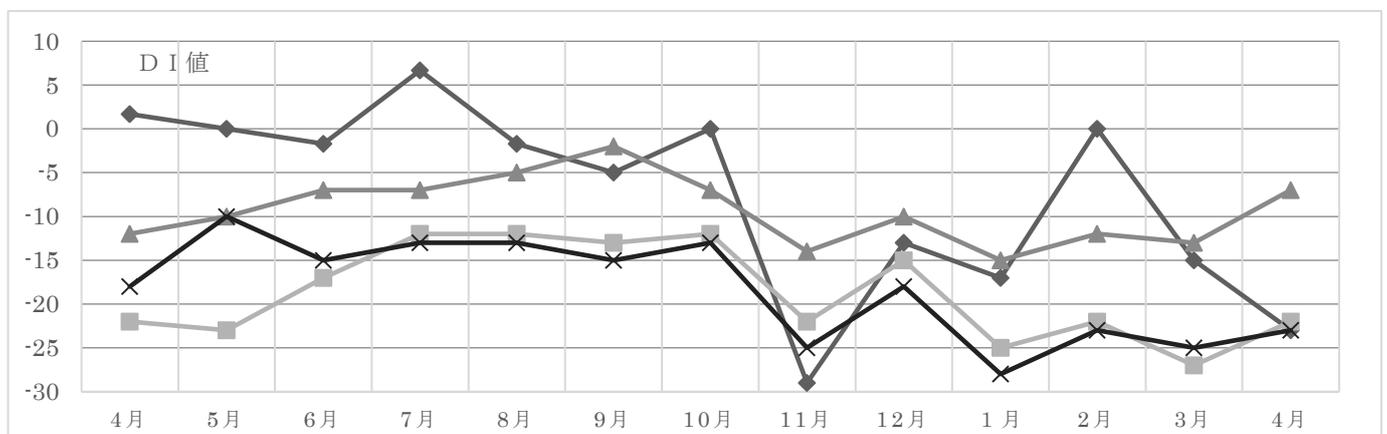
#### I. 景況天気図（県内）…平成28年3月と4月 DI 比較

平成28年 4月分	全産業			製造業			非製造業			30以上
	3月	4月	前月比	3月	4月	前月比	3月	4月	前月比	
売上高	Δ15	Δ23	8P↘	0	0	0P→	Δ23	Δ31	8P↘	10~20
在庫数量	Δ7	Δ17	10P↘	0	Δ9	9P↘	Δ14	Δ24	10P↘	9~Δ9
販売価格	5	Δ3	8P↘	0	5	5P↗	8	Δ7	15P↘	△10~△29
取引条件	Δ7	Δ10	3P↘	0	Δ5	5P↘	Δ10	Δ13	3P↘	△30~△49
収益状況	Δ27	Δ22	5P↗	Δ19	Δ14	5P↗	Δ31	Δ26	5P↗	△50以下
資金繰り	Δ13	Δ7	6P↗	Δ19	Δ9	10P↗	Δ10	Δ5	5P↗	
設備操業度	Δ14	Δ5	9P↗	Δ14	5	19P↗	-	-	-	
雇用人員	Δ7	Δ2	5P↗	0	0	0P→	Δ5	Δ2	3P↗	
業界の景況	Δ25	Δ23	2P↗	Δ14	Δ14	0P→	Δ31	Δ28	3P↗	

DI (Diffusion Index) とは、景気動向指数や景気判断指数と呼ばれており、景気動向を早期に把握するために使われる指標である。「増加・上昇・好転」といったプラス回答の比率から「減少・低下・悪化」というマイナス回答の比率を差し引いた指数のこと。

#### II. 全産業（県内）…平成27年4月～平成28年4月 DI 推移（売上高・収益・資金繰り・景況）

○情報連絡員数 60名・回答者数 60名・回答率 100%



平成28年4月DI … 《◆…売上 -23 ■…収益 -22 ▲…資金繰り -7 ×…景況 -23

#### ※お詫びと訂正

平成28年6月24日（金）に発送しました「NEXUS6月号」P14のI景況天気図、II全産業（県内）…平成27年4月～平成28年4月DI推移（売上高・収益・資金繰り・景況）の数値に誤りがありました。謹んでお詫びさせていただくとともに、上記のように訂正させていただきました。宜しくご理解の程、お願い致します。

## Ⅲ. 各業種の概況（県内）…平成 28 年 4 月分

## ◇酒類製造業

前年同月比の清酒課税移出数量は前月 105%となり 3 か月連続の前年比超えとなった。季節は春から初夏となり各社それぞれに販売強化する時期へ突入することになるが、今季仕込んだ上質なお酒をいかにアピールし、売上を伸ばしていくが課題。

## ◇めん類製造

例年は 4 月から麺類の需要が伸び GW 向けの在庫確保のため生産が増える月であるが、結果は振るわず売上は昨年割れとなった。

## ◇一般製材業

沿岸被災地の宅地造成工事は進んでおり、災害公営住宅や民間住宅等の建設もこれからピークを迎えることが予想され今後の県産材の需要増に期待。

## ◇生コンクリート製造業

全県出荷量は前年同月比で 4 %増であるが、地域間の偏りがさらに顕著になってきている。

## ◇金属製品製造業

工場稼働率、手持工事量については過去 1 年間と比較して若干低下傾向。企業規模による差が拡大傾向にある。各社への見積についても、若干増加したものの低水準にあり、夏に向けて危惧する声が出ており先行きは依然として不透明。

## ◇一般機械器具製造業

全体的に受注量は増加傾向にあるが、コストダウンの要求があり収益面では厳しい状況にある。

## ◇畳製造業

3 月、4 月は例年になく仕事量が減少。特に賃貸関係は閑散である。

## ◇野菜果実卸売業

野菜と果実を合わせた合計取扱数量は前年比 96 %。野菜は後半に向け入荷量が増加してきたため価格は下落傾向にあった。果実は柑橘類、いちご等の入荷量が不安定な状況であり、さらに輸入果実がここ数年で価格が上昇してきているため、果物は全般的に高単価で推移した。

## ◇各種商品小売業

気候も温暖となり客足は良。季節物の衣料品の動きは各地で結果に差が出た。

## ◇野菜・果実小売業

消費動向は依然として回復していなと感じる。昨年からの消費税増税の影響と食料品関係での値上げが続き、将来への不安視に加えて現状の節約ムードが強いと考えられる。

## ◇農機具小売業

農業情勢により相変わらず不透明な状況が継続。

## ◇燃料小売業

現在、電力都市ガスシステム改革の中、業界では料金体系の透明化や分かり易い料金表示等をめぐり議論がなされており、今後は販売店への波及効果が期待される。

## ◇食肉小売業

依然として牛肉卸価格が上昇。消費者の牛肉離れを懸念し値上げを控え利益悪化。卸先に価格改定要請しているものの実現には時間がかかる。

## ◇商店街（盛岡市）

桜の開花が早まったものの開花後は肌寒さと荒天が続き悪影響。GW はアジア圏の旅行客が見られたが、買物袋は持ってない方がほとんどである。

## ◇商店街（久慈市）

「もぐらんぴあ」再オープン等による客足は良化した。総じて売上は低迷している。

## ◇飲食業

早い春の訪れと共に来客の出足も良くなってきたように思われる。GW をひかえ「高速道路 IC が道の駅近くで便利」と言われるお客様もみられるようになった。GW も好天に恵まれ、いい影響が出た。

## ◇旅館業

年度初め、荒天による出控えもあって売上はいまひとつだったが、下旬から GW を迎え上向き。

## ◇旅行業

前年同月比 90%と平年並。桜の開花が早まったことと、熊本地震の影響が出た。

## ◇塗装工事業

新年度からようやく動きがでてきたが、沿岸部以外の地域は受注減。内陸業者が復興住宅、学校等事に関わっているのが多い。

熊本地震の復興が本格化すればさらに原材料・資材の高騰を招き、今後厳しさを増すものと思われる。

## ◇建物サービス業

新年度契約はほぼ終了。最賃上昇に伴う予算化は施設によってばらつきがある。依然厳しい状況。

## ◇土木工事業

売上高は組合員の中でも増加・不変・減少とばらつきあり。年度末公共事業発注があったが、今後は復興需要減少により先行きは楽観視できない状況。

## ◇一般乗用旅客自動車運送業

4 月は売上高減少に転じた。5 月に期待したい。

## 訃報 本会理事 元持 勝利 氏 逝去

5月19日(木)午後8時15分、多臓器不全のため、お亡くなりになりました。

氏は、日本大学卒業後、トヨタ東京カローラを経て、1970年岩手トヨペット取締役役に就任し、86年から社長に就任。ネッツトヨ岩手会長などを務めました。97年5月に岩手県自動車整備高工組合理事長、2013年には(一社)岩手県自動車整備振興会会長に就任され、03年藍綬褒章、14年旭日小綬章、15年県勢功労者を受章されました。

また、98年4月より08年5月まで本会理事、08年5月からは本会副会長に就任いただき、10年5月副会長退任後も、本会理事として本会活動、県内中小企業組合並びに本県産業振興発展に永年にわたりご尽力されてきました。

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



## 第41回中小企業団体岩手県大会の開催について

下記日程にて開催を予定しておりますので、お知らせいたします。

- 開催日時 平成28年9月21日(水) 14:00～
- 開催場所 ホテル東日本 3階「鳳凰の間」(盛岡市)  
※詳細につきましては、後日改めてお知らせ致します。  
お問い合わせ先：統括管理部 (TEL019-624-1363)

## 第68回中小企業団体全国大会の開催について

下記日程にて開催を予定しておりますので、お知らせいたします。

- 開催日時 平成28年10月19日(水)
- 開催場所 いしかわ総合スポーツセンター (〒920-0355 石川県金沢市稚日野町北2-2-2)  
※詳細につきましては、後日改めてお知らせ致します。  
お問い合わせ先：企画振興部 (TEL019-624-1363)

### ◆主要日誌◆ (5月1日～5月31日)

#### ◎中央会主催事業

- 5/6 いわてで働こう！合同企業説明会(共催)
- 5/12 岩手県中小企業団体中央会第61回通常総会
- 5/26 熊本県中小企業団体中央会来会
- ◎関係機関・団体主催行事への出席等
- 5/13 食産業基礎セミナー
- 5/16 盛岡手づくり村開業30周年記念式典
- 〃 地域採択審査委員会
- 5/17 消費税軽減税率対応研修会
- 5/19 いわて観光キャンペーン推進協議会理事会

- 5/20 岩手県発明協会監査
- 〃 ふるさといわて定住財団理事会
- 5/21 盛岡駅前100縁商店街
- 5/25 いわて労連、最低賃金引上げ要請
- 〃 空港利用促進協議会幹事会
- 5/29 YOSAKOIさんさ
- 5/30 県北地域6次化サポート会議
- 5/31 いわてで働こう推進協議会第2回担当者会議
- 〃 H27ものづくり補助事業の手引きに係る説明会